

平成21年8月期 第1四半期決算短信

平成21年1月9日

上場会社名 暁飯島工業 株式会社
 コード番号 1997 URL <http://www.eazima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月14日

上場取引所 JQ

(氏名) 飯島 康輔
 (氏名) 藤沼 一男

TEL 029-244-5111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第1四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成20年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第1四半期	1,907	—	35	—	29	—	△53	—
20年8月期第1四半期	1,914	6.9	31	—	17	—	17	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期第1四半期	△4.87	—	—	—
20年8月期第1四半期	1.62	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年8月期第1四半期	6,239	1,735	1,735	1,827	27.8	158.96	158.96	
20年8月期	6,168	1,827	1,827	1,827	29.6	167.35	167.35	

(参考) 自己資本 21年8月期第1四半期 1,735百万円 20年8月期 1,827百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,500	△7.1	60	△45.8	40	△58.6	△20	—	△1.83
通期	7,500	△9.2	150	△64.6	120	△70.2	60	△86.3	5.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年8月期第1四半期	11,000,000株	20年8月期	11,000,000株
② 期末自己株式数	21年8月期第1四半期	80,471株	20年8月期	80,271株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年8月期第1四半期	10,919,662株	20年8月期第1四半期	10,923,604株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表規則」に準拠して作成し、「建設業法施行規則」に準じて記載しております。

2. 上記に記載した業績予想などの将来に関する記述につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき、合理的であると判断する一定の前提に基づいた見通しとなっております。従いまして、実際の業績等は様々な要因により上記予想と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機に伴う円高・株安等を背景に企業収益は下振れし、実体経済にも先行き不透明感が強まってまいりました。

当社グループ関連の建設業界におきましても、公共事業の減少基調の中、改正建築基準法施行に伴う着工の遅れは若干落ち着きが見られますものの、企業収益の下振れ懸念から民間の設備投資も減少基調となり、低価格による厳しい受注環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは前連結会計年度に引き続き、利益確保を至上命題と位置づけ、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、財務体質の強化等の諸施策を実施しております。その結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、比較的採算性の良い工事が完成したことから、売上高19億7百万円、営業利益35百万円、経常利益29百万円となりましたが、最終損益は投資有価証券評価損及び貸倒引当金繰入額を特別損失として計上したことから53百万円の四半期純損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、62億39百万円となりました。その要因は、主に売上債権及び未成工事支出金の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億61百万円増加し、45億3百万円となりました。その要因は、主に仕入債務及び未成工事受入金の増加によるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ91百万円減少し、17億35百万円となりました。その要因は、主に四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は4億65百万円減少し、10億24百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務及び未成工事受入金が増加したものの、税金等調整前四半期純損失を計上し、売上債権及び未成工事支出金も増加したこと等から3億17百万円の支出超過となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、短期の運用を目的とした有価証券を取得したこと等から20百万円の支出超過となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、資金調達を最小限に抑え、有利子負債の削減に努めたこと等から1億27百万円の支出超過となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成20年10月15日付当社「平成20年8月期決算短信」にて公表しております業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日、平成21年1月9日公表の「特別損失の発生並びに平成21年8月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①完成工事に係る瑕疵担保費用見積額の算定方法

完成工事に係る瑕疵担保費用見積額の算定に関しては、当第1四半期連結会計期間末の補償実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において算定した補償実績率を使用しております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 会計基準等の改正に伴う変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表規則」に準拠して作成し、「建設業法施行規則」に準じて記載しております。

2. 会計基準等の改正に伴う変更以外の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,039,895	1,535,084
受取手形・完成工事未収入金	1,522,412	1,103,962
有価証券	99,729	—
未成工事支出金	852,403	691,422
繰延税金資産	41,065	40,912
その他	24,729	16,956
貸倒引当金	△ 59,281	△ 21,360
流動資産合計	3,520,953	3,366,978
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,155,940	1,195,368
減価償却累計額	△ 833,971	△ 865,210
建物・構築物(純額)	321,968	330,157
土地	2,187,079	2,232,331
その他	7,719	10,536
減価償却累計額	△ 7,290	△ 9,963
その他(純額)	429	572
有形固定資産合計	2,509,477	2,563,061
無形固定資産	7,344	7,969
投資その他の資産		
投資有価証券	174,991	202,135
長期貸付金	500	500
破産更生債権等	175,872	106,502
その他	38,236	39,210
貸倒引当金	△ 188,283	△ 117,585
投資その他の資産合計	201,316	230,762
固定資産合計	2,718,138	2,801,794
資産合計	6,239,092	6,168,773

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	1,524,099	1,268,825
短期借入金	1,236,800	1,461,700
1年内返済予定の長期借入金	358,360	346,650
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
未払法人税等	1,014	2,565
未成工事受入金	590,508	528,022
完成工事補償引当金	10,700	8,918
工事損失引当金	600	1,400
賞与引当金	22,700	52,300
その他	100,528	103,044
流動負債合計	3,875,310	3,803,425
固定負債		
社債	345,000	345,000
長期借入金	238,680	146,900
退職給付引当金	29,108	28,800
その他	15,218	17,283
固定負債合計	628,006	537,983
負債合計	4,503,317	4,341,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,408,600	1,408,600
資本剰余金	3,705	3,705
利益剰余金	361,263	436,245
自己株式	△ 21,130	△ 21,117
株主資本合計	1,752,437	1,827,432
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 16,662	△ 69
評価・換算差額等合計	△ 16,662	△ 69
純資産合計	1,735,774	1,827,363
負債純資産合計	6,239,092	6,168,773

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)
売上高	
完成工事高	1,895,774
その他の事業売上高	11,572
売上高合計	1,907,346
売上原価	
完成工事原価	1,723,902
その他の事業売上原価	4,837
売上原価合計	1,728,740
売上総利益	178,606
販売費及び一般管理費	
従業員給料及び手当	44,330
賞与引当金繰入額	3,874
退職給付費用	3,205
貸倒引当金繰入額	38,047
その他	53,565
販売費及び一般管理費合計	143,022
営業利益	35,583
営業外収益	
受取利息	771
受取配当金	1,328
仕入割引	2,244
受取地代家賃	2,252
その他	1,874
営業外収益合計	8,471
営業外費用	
支払利息	13,874
その他	984
営業外費用合計	14,858
経常利益	29,197
特別利益	
有形固定資産売却益	1,421
特別利益合計	1,421
特別損失	
減損損失	553
投資有価証券売却損	4
投資有価証券評価損	12,631
貸倒引当金繰入額	70,571
特別損失合計	83,762
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 53,143
法人税、住民税及び事業税	152
法人税等調整額	△ 153
法人税等合計	△ 0
四半期純損失(△)	△ 53,142

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 53,143
減価償却費	5,886
減損損失	553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	108,619
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	1,782
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△ 800
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 29,600
退職給付引当金の増減額(△は減少)	307
受取利息及び受取配当金	△ 2,099
支払利息	13,874
有形固定資産売却損益(△は益)	△ 1,421
投資有価証券売却損益(△は益)	4
投資有価証券評価損益(△は益)	12,631
売上債権の増減額(△は増加)	△ 418,449
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△ 160,981
仕入債務の増減額(△は減少)	255,273
未成工事受入金の増減額(△は減少)	62,486
未払消費税等の増減額(△は減少)	△ 37,361
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△ 69,369
その他	4,712
小計	△ 307,092
利息及び配当金の受取額	2,198
利息の支払額	△ 12,047
法人税等の支払額	△ 610
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 317,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 2
定期預金の払戻による収入	30,000
有価証券の取得による支出	△ 99,729
有形固定資産の売却による収入	51,000
投資有価証券の取得による支出	△ 2,416
投資有価証券の売却及び償還による収入	329
その他	246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,572
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 224,900
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△ 96,510
自己株式の取得による支出	△ 12
配当金の支払額	△ 5,644
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 127,067
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 465,191
現金及び現金同等物の期首残高	1,490,081
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,024,890

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表規則」に準拠して作成し、「建設業法施行規則」に準じて記載しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成20年11月30日)

該当事項はありません。

【参考】

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年9月1日 至平成19年11月30日)
	金 額
I 売上高	1,914,318
II 売上原価	1,782,992
売上総利益	131,325
III 販売費及び一般管理費	100,209
営業利益	31,116
IV 営業外収益	
受取利息	783
受取配当金	715
その他	6,453
営業外収益合計	7,952
V 営業外費用	
支払利息	19,781
その他	1,803
営業外費用合計	21,584
経常利益	17,484
VI 特別利益	
貸倒引当金戻入益	256
特別利益合計	256
VII 特別損失	
貸倒引当金繰入額	7
特別損失合計	7
税金等調整前四半期純利益	17,733
税金費用	41
四半期純利益	17,692

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年9月1日 至平成19年11月30日)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	17,733
減価償却費	6,566
引当金の増加・減少(△)額	7,941
受取利息及び受取配当金	△ 1,498
支払利息	19,781
売上債権の減少・増加(△)額	74,647
未成工事支出金の減少・増加(△)	27,672
仕入債務の増加・減少(△)	△ 305,652
未成工事受入金の増加・減少(△)	524,593
その他	4,732
小 計	376,519
利息及び配当金の受取額	1,571
利息の支払額	△ 19,140
その他	△ 655
営業活動によるキャッシュ・フロー	358,294
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△ 60
その他	△ 1,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,033
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増加・減少(△)	35,100
長期借入金の返済による支出	△ 172,950
その他	△ 61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 137,911
IV 現金及び現金同等物の増加・減少(△)	218,349
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,546,927
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,765,277

6. その他の情報

(1) 受注及び売上の状況

① 受注実績

(単位：千円、%)

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年9月1日 至平成19年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)		増 減 (△は減少)		(参考) 前連結会計年度 (平成20年8月期)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率	金 額	構 成 比
設備工事業								
建築設備工事	817,717	51.4	954,663	61.7	136,946	16.7	3,154,048	47.2
リニューアル工事	713,150	44.8	543,773	35.2	△ 169,377	△ 23.8	2,646,212	39.7
土木工事	—	—	—	—	—	—	335,833	5.0
プラント工事	—	—	—	—	—	—	5,800	0.1
ビルケア工事	48,425	3.0	36,713	2.4	△ 11,711	△ 24.2	455,215	6.8
設備工事業計	1,579,292	99.2	1,535,150	99.3	△ 44,142	△ 2.8	6,597,109	98.8
その他								
不動産事業	12,633	0.8	11,572	0.7	△ 1,061	△ 8.4	49,989	0.7
コンサルタント業務	—	—	—	—	—	—	30,000	0.5
その他計	12,633	0.8	11,572	0.7	△ 1,061	△ 8.4	79,989	1.2
合計	1,591,926	100.0	1,546,723	100.0	△ 45,203	△ 2.8	6,677,099	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 売上実績

(単位：千円、%)

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年9月1日 至平成19年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)		増 減 (△は減少)		(参考) 前連結会計年度 (平成20年8月期)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率	金 額	構 成 比
設備工事業								
建築設備工事	1,354,490	70.7	1,143,466	59.9	△ 211,024	△ 15.6	4,123,797	49.9
リニューアル工事	424,734	22.2	609,591	32.0	184,857	43.5	3,320,724	40.2
土木工事	—	—	29,034	1.5	29,034	—	29,604	0.4
プラント工事	—	—	—	—	—	—	230,800	2.8
ビルケア工事	122,459	6.4	113,681	6.0	△ 8,777	△ 7.2	474,306	5.7
設備工事業計	1,901,684	99.3	1,895,774	99.4	△ 5,910	△ 0.3	8,179,232	99.0
その他								
不動産事業	12,633	0.7	11,572	0.6	△ 1,061	△ 8.4	49,989	0.6
コンサルタント業務	—	—	—	—	—	—	30,000	0.4
その他計	12,633	0.7	11,572	0.6	△ 1,061	△ 8.4	79,989	1.0
合計	1,914,318	100.0	1,907,346	100.0	△ 6,971	△ 0.4	8,259,222	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。